

教育福祉常任委員会審査報告

(1 ページ)

ハイサイ教育福祉常任委員会です。

これより、本市における「G I G Aスクール構想の実現」に向けた市議会の取り組みをご報告いたします。

代表質問、一般質問と活発に質問もあり、また委員会審査でも議論が重ねられました。

(2 ページ)

G I G Aスクール構想とは何か？

まず、G I G Aスクール構想とは、文部科学省が打ち出したもので、わかりやすくいうと、子どもたち1人1人の個性に合わせた教育の表現のため、1人1台の端末と高速ネットワーク環境を整える計画となります。

文部科学省が全国の学校に対し提示した「G I G Aスクール構想」ではありますが、あくまで主体的に進めていくのは各自治体となります。また、今般の感染症や災害の発生等による学校臨時休業等の緊急時においても、I C Tの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境の早急な実現を目指しています。

(3 ページ)

今回の「G I G Aスクール構想の実現」に向けて、議会ではさまざまな議論がありました。

- 1 G I G Aスクール事業の予算について
- 2 タブレット端末の導入までについて
- 3 今後の課題・取り組みについて

説明を行います。

(4 ページ)

それでは、一つ目、本市におけるG I G Aスクール事業の予算について、ご説明いたします。

まず、小中学校 学校ネットワーク wi-fi 環境整備費については、約7億6千万円で契約されました。

児童生徒タブレット端末整備費は1台当たり約45,000円を見積もっております。

対象児童生徒数は2万8,469人、先生用は、予備の分も含めて約1,500台の導入となっており、約14億円で契約されました。

(5ページ)

次に、二つ目、タブレット端末の導入スケジュールについてご説明します。

去った10月9日に、校内 wi-fi 環境整備及び児童生徒のタブレット端末並びに指導者用ノートPCについて入札が実施されております。

校内 wi-fi 環境整備及びタブレット端末整備については、令和2年度末までの導入が予定されております。

また、新型コロナ禍の臨時休業時の状況においては、wi-fi 環境のない世帯には、モバイル wi-fi ルーターの貸し出しが予定されております。

(6ページ)

三つ目、本市として今後どのような取り組みをしていくかです。

「GIGAスクール構想」のガイドラインの構築及び新型コロナ禍時の臨時休業のような状況に陥った場合、児童生徒の安否確認、もしくは学習状況の確認のための双方向通信ができるように調査・研究をしなければなりません。

また、wi-fi 環境整備及びタブレット端末整備については、令和2年度末の導入予定ですが、今回、導入時期についても、早急な対応をもとめる市民の声もあり、今後、議会でもさらに議論を深める必要があると考えております。

(7ページ)

教育福祉常任委員会では、児童生徒を誰一人取り残すことのない、学びの実現に向けて、しっかりと取り組んでまいります。

以上で教育福祉常任委員会からのご報告とさせていただきます。
ご清聴ありがとうございました。